



学校だより

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
- 「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。
- 「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
- 「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
- 「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

令和5年10月31日
横浜市立菅田の丘小学校
校長 若山 京子
11月号
[霜月 November]

全力で頑張ること

校長 若山 京子



10月14日(土)、さわやかな秋晴れのもと「菅田の丘小学校第3回運動会」を行いました。開校してから初めて、参観人数の制限を設けることなく実施ができました。また声出しも解禁となり、子どもたちは大きな声で演技のかけ声を合わせたり、競技で頑張る仲間へ声援を送ったりしていました。今年はお彼岸の頃を過ぎても真夏のような暑さが続き、WBGT(暑さ指数)計の数値が高くて運動会に向けた練習もままならない日が多くありました。加えて、コロナ、インフルエンザといった感染症が流行し、体調を崩してしまう子もいました。運動会当日もお休みせざるを得ない子もいましたが、運動会までの貴重な練習時間にはどの子も集中して懸命に頑張っていました。保護者の方々、PTO役員の皆様、地域の皆様には、参観等、様々な面で御理解・御協力をいただき、ありがとうございました。

運動会の勝敗は白組が優勝、赤組が準優勝でした。得点発表では赤組の子どもたちは歓声を上げ、白組の子どもたちは落胆の表情を見せていました。閉会式で、優勝旗が白組応援団長に手渡されました。準優勝の赤組には盾が贈られます。受け取る前、赤組応援団長は少し悔しそうな表情で朝礼台の前に立っていました。負けたのですから悔しい思いになるのは当然です。私が感動したのは、準優勝盾を受け取った彼がぐるりと全校児童の方に振り返り、両手に持った盾を誇らしげに頭上にかかげたことです。何と声を発したのか正確には聞きとり損ねていますが、盾をかかげながら「こっち(準優勝)もかっこいいぞ。」と声高らかに言ったのです。その時、赤組の子どもたちの表情がぱっとほころびました。優勝旗、準優勝盾を受け取り、台を降りて並ぶ赤白両組の応援団長と、後ろでそれをにこやかに見つめる全校の子どもたちを見て、朝礼台の上に立つ私の胸にはこみあげる熱いものがありました。緊張した面持ちで優勝旗を受け取った白組応援団長も、笑顔にもどった赤組応援団長もとても立派な姿でした。そして何より「全力花笑み!協力し合い、おうえんし合おう!」のスローガンの通り、自分のめあてに向かって全力で取り組んだ子どもたち一人一人の頑張る姿が素敵な運動会でした。

運動会前の朝会で子どもたちに「立派な勝ちと立派な負け」の話をしました。負けてしまった人にも敬意を表してこそ立派な勝ち、失敗をおそれず最後まで全力を尽くしてこそ立派な負けと言える、運動会では持てる力を存分に発揮しましょう、と話しました。全力を尽くしてほしいことは、勝負ごとばかりではありません。何か目標に向かって努力をしたとき、目標が達成できる場合も惜しくも達成できない場合もあります。それでも、全力で取り組むことに意味がある、自分自身の成長につながるものがあるのではないのでしょうか。学校生活の中には、めあてを掲げて挑戦する場面や機会がたくさんあります。子どもたちには、めんどうがらずに、失敗をおそれずに、何事も全力で取り組んでほしいと願っています。そして子どもたちの挑戦や取り組みを、教職員一同、全力で支援し応援してまいります。保護者の皆様には子どもたちに温かい励ましと応援を送り続けていただきますよう、そして教職員や学校の教育活動にはどうぞご理解とご協力をいただきますよう、今後ともよろしくお祈りします。

